

ロスナイ用システム部材 給排気パイプ

形名

P-30SP-S

この給排気パイプは、壁掛1パイプ取付ロスナイに使用するものです。

既築への据付専用であり、新築には据付けできません。

■据付けを始める前にこの据付説明書とロスナイ本体に付属の据付説明書をよくお読みになり、販売店・工事店様が実施してください。

適用機種		
代表形名	VL-**JVタイプ	VL-**Sタイプ
形名	VL-06JV3 VL-08JV3 VL-10JV3 VL-12JV3	VL-08S3, VL-08ES3, VL-08SR3 VL-10S3, VL-10ES3, VL-10SR3 VL-12ESH3, VL-12SRH3, VL-12SAH3

据付説明書

販売店・工事店様用

安全のために必ず守ること

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で説明しています。

本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。



注意

誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの



指示に従い必ず行う



注意

誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの



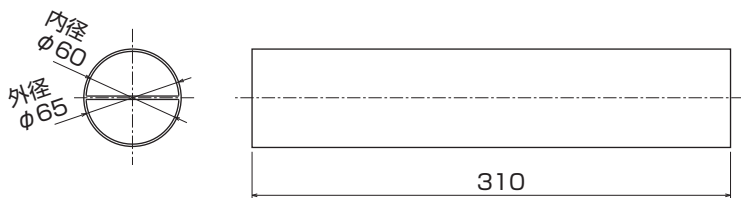
指示に従い必ず行う

- 据付けは十分強度のあるところを選んで確実にを行う（落下によるけがの原因）
- 給排気パイプは室外に向かって下りこう配になるように取付ける（雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因）
- 据付けの際は手袋を着用する（けがの原因）

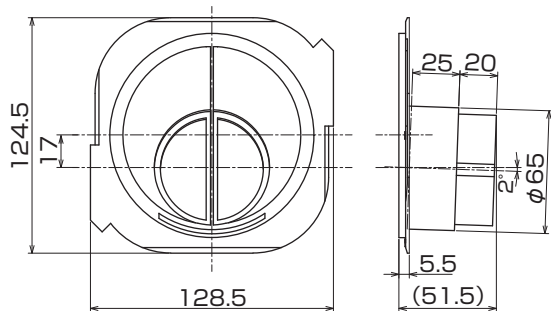
外形寸法図

単位 (mm)

■ 給排気パイプ



■ 接続フランジ



付属部品

- アルミテープ…………… 1枚

据付方法

据付け前に十分に仕様を確認してから施工してください。

※ロスナイの縦取付けには対応していません。（水漏れの原因）

※屋外フードを先に取付ける”フード先付け”には対応していません。

※壁厚300mm以上には据付けできません。

1. 壁穴工事

1. 据付位置・壁穴位置を決める

(1) 据付位置を決める。

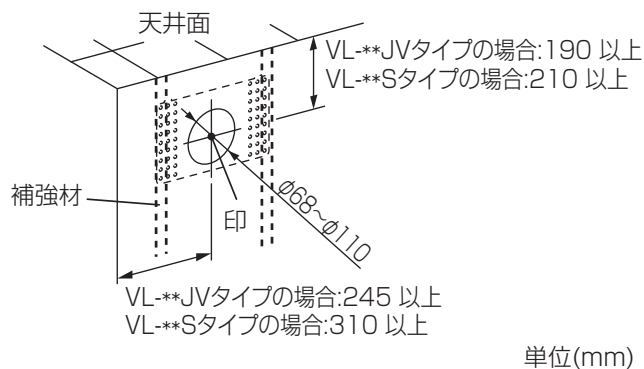
- 床面より1800mm以上のメンテナンス可能な位置に据付けてください。**VL-**JVタイプのみ**
- 補強材（壁内）が取付板を固定できる位置にあるか確認してください。

(2) 壁穴位置の中心に印を付ける。

2. φ68～φ110mmの壁穴をあける

お願い

- 雨水浸入防止のために必ず室外側に約2°の下りこう配となるように壁穴をあけてください。
- 壁穴はφ68未満とならないよう必ず調整してください。（取付板と壁面の間に隙間が生じ、製品周囲の壁面に結露が発生する原因）



2. 電源線の引き出し

VL-**JVタイプの場合

(1) 右図を参照して電源線取り出し位置を確認し、穴(φ15mm)をあける。

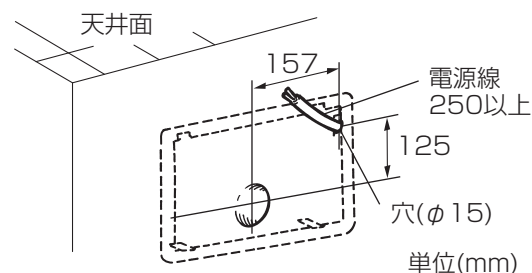
(2) 電源線を室内側へ250mm以上引き出す。

- 電源線はVVF単線2芯φ1.6をご使用ください。

メモ

システム部材の変換コード(P-01DC、P-250DC)を使用すると電源プラグ対応になります。このときは電源線の引き出しは不要です。

- 電源線が壁内へ押し戻せることを確認してください。



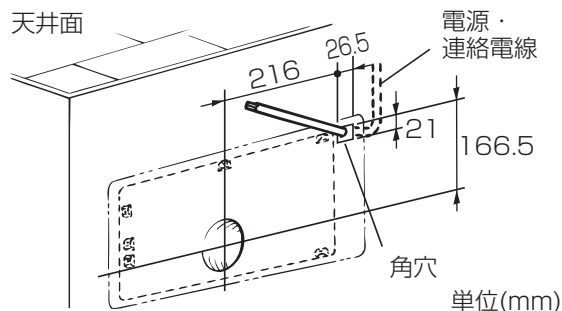
VL-**Sタイプの場合

(1) 右図を参照して電源・連絡電線取り出し位置を確認し、穴(26.5×21)をあける。

(2) 電源・連絡電線を室内側へ引き出す。

メモ

壁スイッチタイプ以外の場合は、システム部材の変換コード(P-01DC、P-250DC)を使用すると電源プラグ対応になります。このときは電源・連絡電線の引き出しは不要となります。



3. 据付け前の準備

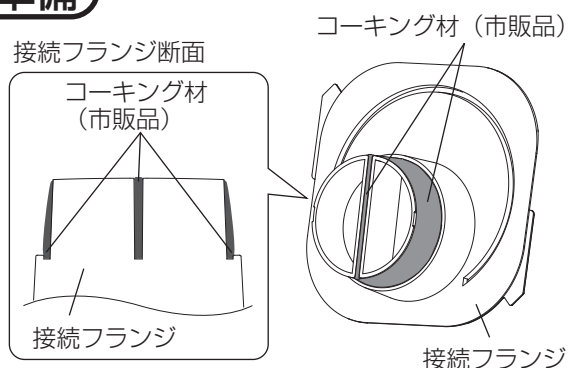
1. コーキング材の塗布

接続フランジで給排気パイプを取付ける部位の溝および側面全周にコーキング材を塗布する。

- コーキングをしないと雨水が浸入します。

お願い

- コーキング材硬化前に「2. 接続フランジを給排気パイプに取付ける」の作業を行ってください。

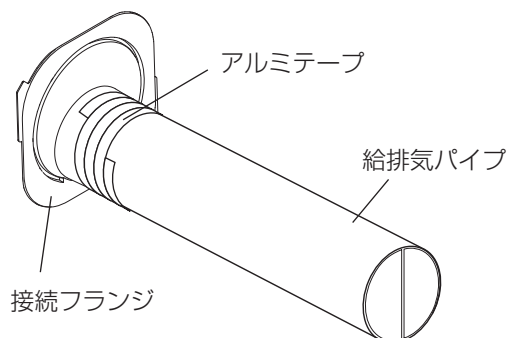


2. 接続フランジを給排気パイプに取付ける

接続フランジと給排気パイプを取付け、同梱のアルミテープを巻き付けて固定する。

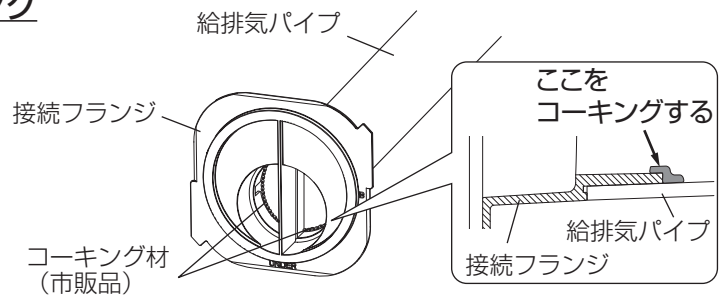
お願い

- 接続フランジと給排気パイプを取付けた際、コーキング材が給排気パイプの内外にはみ出た場合は、平らにならしてください。
- 「4. 給排気パイプを切断する」で切断された給排気パイプの切断断面側を接続フランジに取付けないでください。（雨水浸入防止のために必要な角度が保てなくなります）



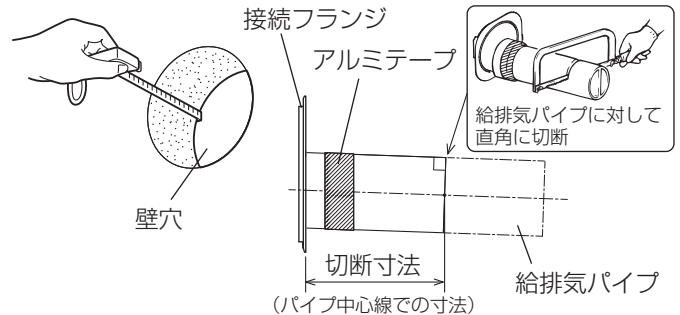
3. 接続フランジとパイプ取付箇所のコーキング

接続フランジと給排気パイプの取付箇所を内側からコーキングする。



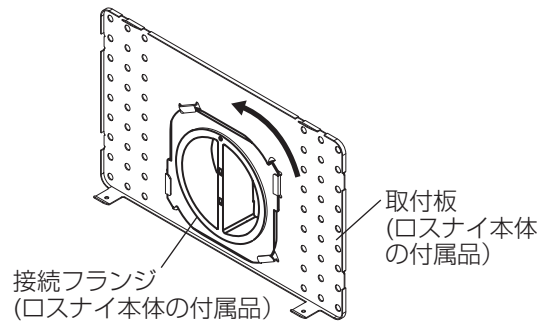
4. 給排気パイプを切断する

- (1) 壁厚を測る。
- (2) 壁厚+30mmの寸法で給排気パイプを切断する。



5. 給排気パイプをロスナイ本体に付属の取付板に固定する

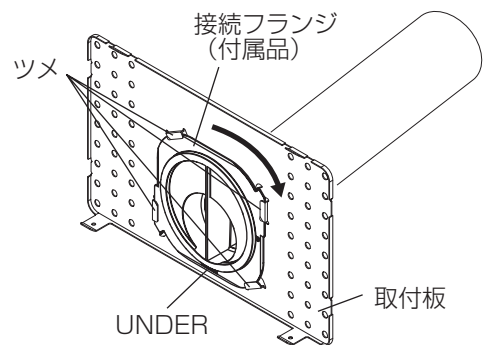
- (1) ロスナイ本体出荷時に、付属品の取付板に取付けられている接続フランジを、右図の矢印の方向に回転させて取りはずす。(以降、使用しません) **VL-**JVタイプのみ**



- (2) 給排気パイプを取付板に固定する

VL-**JVタイプの場合

右図の矢印の方向(時計回り)に回転させて接続フランジの"UNDER"の表示が下側になるように給排気パイプをツメに引っ掛ける。

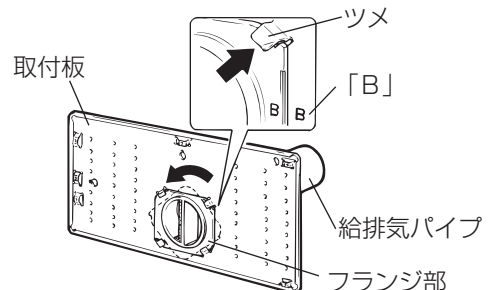


VL-**Sタイプの場合

図の矢印の方向(反時計回り)に回転させて接続フランジの"UNDER"の表示が下側になるように給排気パイプをツメに引っ掛ける。

お願い

- 取付板の刻印「B」とフランジ部の刻印「B」が合うように取付けてください。

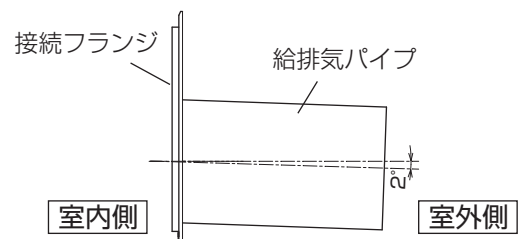


- (3) 給排気パイプが右図のように室外側に向かって下りこう配になっているか確認する。

- 下りこう配になっていないと、ドレン水の逆流や雨水が浸入します。

お願い

- 接続フランジにツメが4か所とも掛かっていることを確認してください。(ロスナイ本体背面が押されてシャッター動作不良の原因となります)

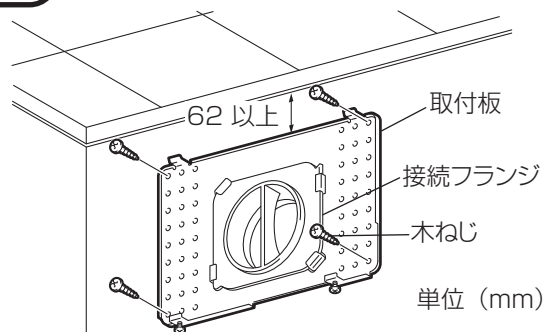


4. 取付板の取付け

取付板を固定する

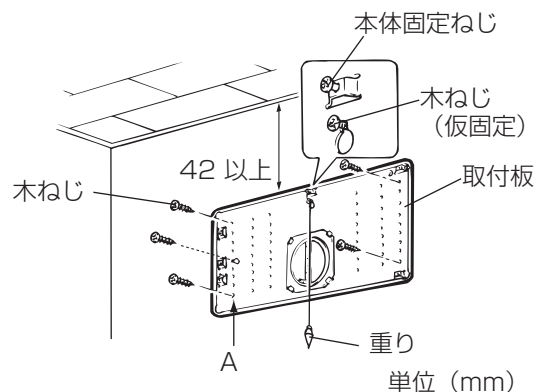
VL-**JVタイプの場合

- (1) 給排気パイプを壁穴に通す。
- (2) 天井・壁からの寸法を確保して壁内の補強材のある位置に木ねじ4本で取付板を固定する。
木ねじはできるだけ4すみの均等な位置で固定し、取付板は水平（傾き1°以内）で取付ける。



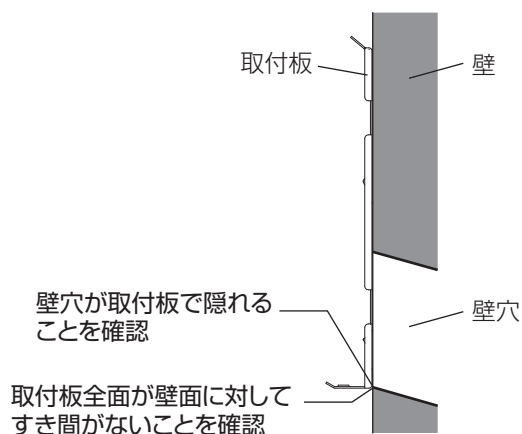
VL-**Sタイプの場合

- (1) 給排気パイプを壁穴に通す。
- (2) 取付板を木ねじ1本で仮固定する。
(最後に締めつけてください)
- (3) 本体固定ねじ1本を本体吊用として取付板に取付ける。
- (4) 重りを吊り下げて、取付板の水平（傾き1°以内）を確認する。
- (5) 壁内の補強材のある位置に木ねじ4本で取付板を固定する。
- (6) A列中央を木ねじ1本で固定する。



お願い

- 木ねじで固定する前に、取付板と壁面の間ですき間がないことを確認してください。すき間がある場合は一旦壁面からはずし、全面ですき間がなくなるまで壁穴を調整してください。（取付板と壁面の間ですき間が生じると、製品周囲の壁面に結露が発生する原因となります）
- コンクリート壁の場合はコンクリートビスで固定してください。（市販品）
- 取付板は、壁穴が取付板で隠れる位置に取付けてください。（製品取付時に壁穴が露出する原因）
- 電源・連絡電線取出位置と取付板との位置関係は正確に出してください。（取付板の位置がずれると電源・連絡電線取出穴が本体からはみ出してしまいます）



これ以降の工事（VL-**JVタイプの場合は「5.電気工事」、VL-**Sタイプの場合は「5-4. 本体の据付け」）からは、ロスナイ本体に付属の据付説明書に従って施工してください。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号